

# カラー検討

## 1. カラーユニバーサルデザイン思想の適用

多様な色覚特性を持つ人に配慮し、広く情報が正確に伝わるように配慮したカラーを選定する

## 2. クラブカラーとのマッチング（汎用性）

使用5色（白・青・赤・黒・黄）のうち、赤、青、黄に関して、各クラブへの汎用性が高い「中間色」を検出し、効率的な5色制限を実現するカラーを選定する

**誰もが公平に情報を認知できる  
観戦・視聴環境の構築推進**

# カラー検討プロセス 使用5色の選定

① カラーユニバーサルデザインの  
推奨カラーを参考。



② [Jリーグ全クラブで過去3年に  
選手番号に使用された上位色]をベースに、  
NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構  
(CUDO)からの助言をもとに選定。

## (1) ユニバーサルデザインとは

”できるだけ多くの人々が利用可能であるようなデザイン”を基本コンセプトとしたデザインの事で、人が生活する上で「使いやすさ、見やすさ」といった細かい部分にも配慮・工夫をしたデザイン。

## (2) カラー選定に関して

ユニバーサルカラーとしての推奨色を参考に使用カラーを選定します

※ユニバーサルカラーとは:多様な色覚を持つさまざまな人に配慮して、全ての人に情報が正確に伝わるように配慮されたデザイン。

### 文字・サイン用

※各Level下の注記は元データが読み取りにくい為、同様の内容を上書きして記載しております

Level 1	Level 2	Level 3
<p>どのように組み合わせても各色の違いが分かりやすい色</p> <p>レッド</p> <p>イエロー</p> <p>グリーン</p> <p>ブルー</p> <p>ホワイト</p> <p>ブラック</p>	<p>ピンク</p> <p>ライトグリーン</p> <p>ライトブルー</p> <p>オレンジ</p> <p>イエローグリーン</p>	<p>ブルーグリーン</p> <p>レッドパープル</p> <p>ブラウン</p>

※参考  
カラーユニバーサルデザイン  
(NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 著)

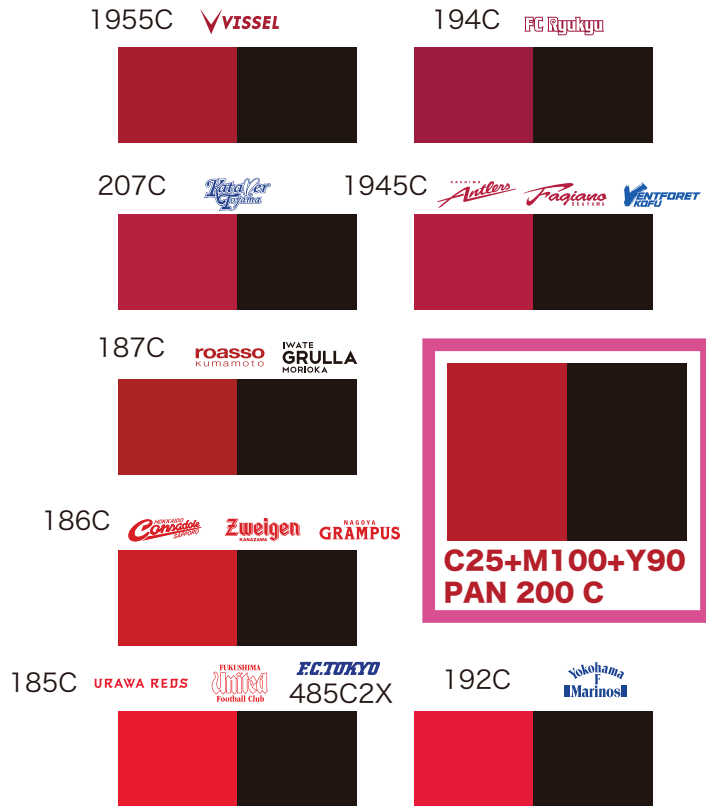
白	白	51.3%
黒	黒	25.4%
紺	紺	5.1%
青	青	4.1%
赤	赤	3.6%
金	金	3.2%
黄	黄	1.5%
オレンジ	オレンジ	1.3%
ピンク	ピンク	1.2%
緑	緑	1.1%

CUDO 推奨 「どのように組み合わせても違いが分かりやすい色」

# カラー検討プロセス 色覚シミュレーション

多様な色覚型の中での「P型・D型」の割合は日本では男性の約20人に1人、女性の約500人に1人、日本全体では320万人以上いるとされています。欧米では男性の8~10%の割合になります。世界に2億人を超える人数と考えられており、その比率は血液型がAB型の男性の数に匹敵します。

## 色覚シミュレーション (赤色の例)



## P型 (1型) 色覚での検証



濃い赤色は、色味のない「黒」に見えてしまうため、識別が困難な場面が考えられる。

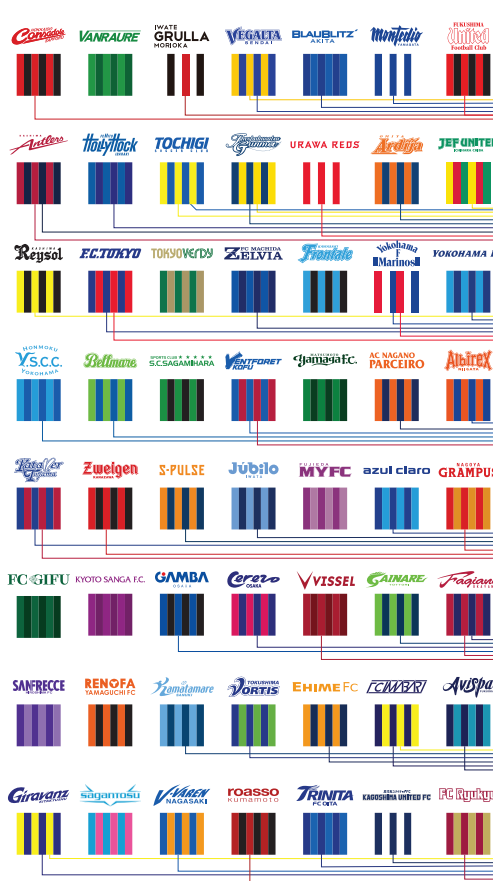


P型D型色覚で、「黒色との識別が可能な色味」を、エンジとアカの中間色から検出し、番号色カラーに採用した。

# カラー検討プロセス

## 1. クラブカラー（メイン・サブ）の検証

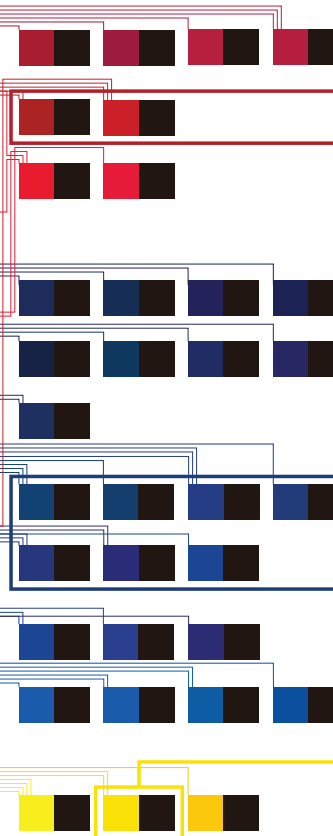
赤・青・黄の「色味」を選定するにあたり、クラブカラーの使用色系統を検討



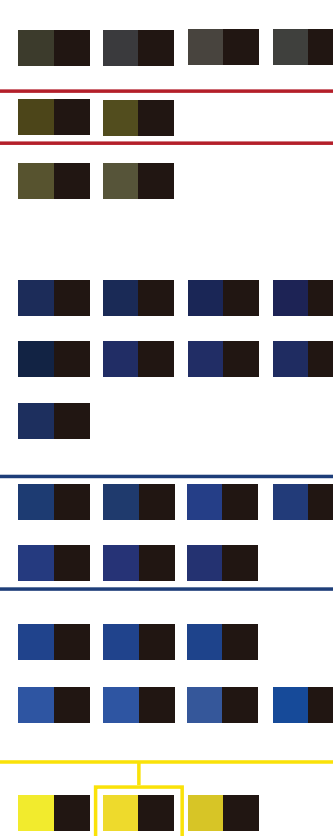
## 2. 全体最適となるカラーの検証

Jクラブへの汎用性が高い中間色を検出し、カラーユニバーサルデザイン(CUD)の思想を加味して設定する。

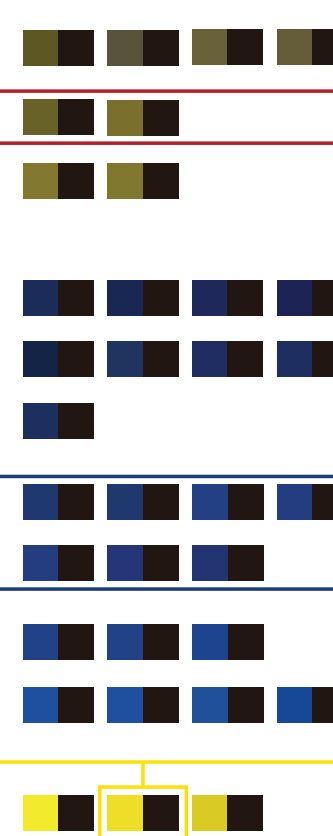
2-1. クラブカラーから赤・青・黄を抽出



2-2. 色覚シミュレーション P型(1型)色覚検証



2-3. 色覚シミュレーション D型(2型)色覚検証



2-4. 仮選色



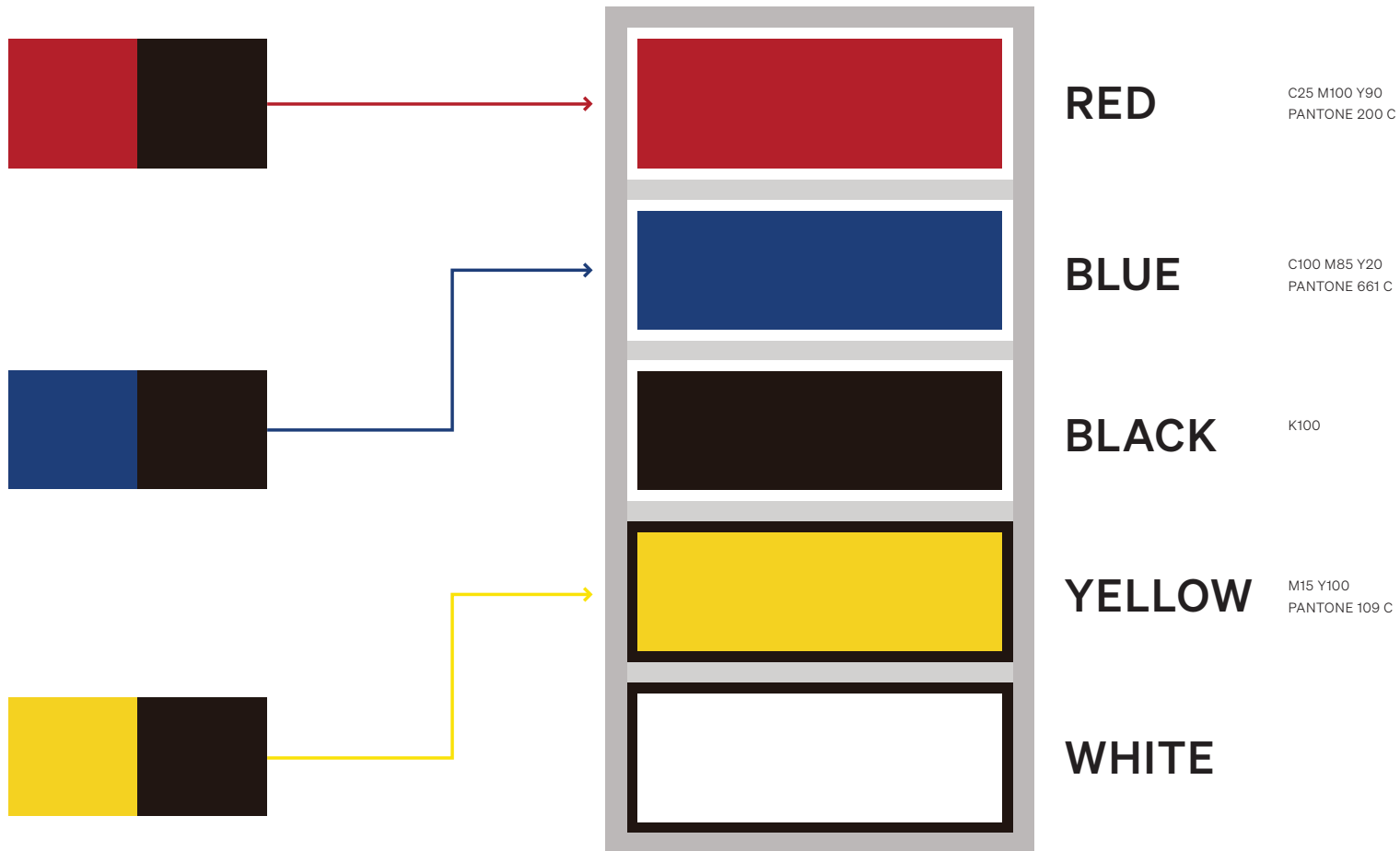
RED  
エンジとアカの中間色でP型D型色覚で黒色と識別可能な色味

BLUE  
ブルーとネイビーの中間色で、黒色と識別可能な色味

YELLOW  
中間色を選出

多様な色覚型の中での「P型・D型」の割合は日本では男性の約20人に1人、女性の約500人に1人、日本全体では320万人以上いるとされています。欧米では男性の8-10%の割合になります。世界に2億人を超える人数と考えられており、その比率は血液型がAB型の男性の数に匹敵します

# カラー検討 プロセス



フチ指定色：白

フチ指定色：黒

